



特集 中学生の見る議会



12月12日、佐呂間中学校3年生が「総合的な学習の時間」の一環として町議会を訪れ、第4回定例会の初日、一般質問を傍聴しました。
生徒達は議場内の真剣な空気に緊張した面持ちで、議員と理事者のやり取りに聞き入っていました。
ここでは生徒の感想の一部をご紹介します。

積極的に選挙へ

西岡 真菜さん

私は特別傍聴席から議会を見学させていただきました。議場はとても静かで緊張しました。

見学時間は15分と短い時間でしたが、議場の雰囲気と議長さん側から見る議場の景色を体験できたのはとても貴重な経験だったと思います。私達も数年後には選挙権が与えられ、政治に参加することが出来ます。

ですから、よりよい街づくりのために、積極的に選挙に参加したいと思います。最後に、このような機会を与えてくださった全ての皆様に感謝したいです。

僕たちの事を考えた議論

長岡 輝さん

今回僕は人生初の議会傍聴を体験しました。控室で中継を見ている時とても静かで、とても緊張をしていました。

自分の班の順番が回ってきた傍聴が始まりました。その場には町長や教育長など町の主軸となる方々がたくさんいて、自然と自分も真剣になっていました。

議員さんや教育長などの方々が普段とだけ自分たち学生のための事を考えて議論しているかを知ることのできる良い機会になりました。このような機会を作ってください、ありがとうございます。

議員の考えに感激

鈴木 啓介さん

自分は高橋議員の質問を傍聴させていただきました。

自分は今まで議会と関わることがなく、どんなことをしているところかもよくわかっていませんでした。

しかし、今回傍聴させていただき、議員の皆さんが心から佐呂間のことを考えていてくれてとても感激しました。同時に議会のことにも少し興味が高まりました。

今回の経験を通して議員の方々が佐呂間のことをしっかり考えてくれていたことが改めてわかりました。貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございます。

町民と町政のつながりを理解

高橋 史龍さん

町議会。

議員の父を持つ自分として、町政はどのように行われているかに興味を持っていました。

そこで今回の議会傍聴を通して知ることができたことがありました。

町民の考えが議員さんを通して、慎重に議論されていくことが学べました。

こうして常日頃、間接的ですが町民と町政はつながっていることがわかりました。今後は傍聴を通して、自分も積極的に市町村政に関わりたいと思いました。

